

第40回「医療放射線の安全利用」フォーラム

日時：平成31年2月17日（日）10:30～15:30

場所：首都大学東京 荒川キャンパス大視聴覚教室

東京都荒川区東尾久7-2-10

日暮里・舎人ライナー「熊野前」駅下車徒歩3分、
都電荒川線「熊野前」駅下車徒歩3分、
田端駅から都営バス端44系統「北千住駅行」に乗車、
「首都大荒川キャンパス前」下車徒歩0分

テーマ：診療放射線従事者の個人管理の現状と課題

趣旨：放射線診療業務に従事する医療関係者は、放射線の被ばく管理や健康管理として特殊健康診断、さらに放射線安全に関する放射線教育を個々の放射線従事者に行う必要があります。
今回は、これらの放射線従事者に対する個人管理の現状と課題について検討します。とくに最近の被ばく管理として、水晶体の線量限度引き下げに伴う対応についても検討します。

(プログラム) 10:30～15:30

開催の挨拶：佐々木 康人（医療放射線防護連絡協議会会長）

基調講演（60分）

座長 佐々木 康人（医療放射線防護連絡協議会会長）

「診療放射線従事者に対する個人管理の現状と課題」

櫻田尚樹（国立保健医療科学院 生活環境研究部）

パネルディスカッション（各20分）

「水晶体被ばく線量引き下げに伴う個人被ばくの課題」

座長 横山 須美（藤田保健衛生大学）

座長イントロダクション（10分）

講演1 「実用量と防護量」

黒澤 忠弘（国立研究開発法人産業技術総合研究所）

講演2 医療分野におけるガイドライン作成状況－放射線科から－

大野 和子（京都医療科学大学）

講演3 循環器分野における従事者防護の状況

天野 英夫（東邦大学）

講演4 整形外科分野における従事者防護の状況

平泉 裕（昭和大学）

総合討論 座長 菊地 透（医療放射線防護連絡協議会総務理事）

診療科横断的ガイドラインにむけて

指定発言：厚生省または原子力規制庁・放射線規制室 担当官

閉会の挨拶：菊地 透（医療放射線防護連絡協議会総務理事）



◆参加費：3,000円（講演要旨集代含む）

◆申込方法：学生1,000円（大学院生は除きます、学生証をご持参ください）

◆申込先：Eメールでお申し込みください。

申込先：医療放射線防護連絡協議会事務局

〒113-8941 東京都文京区本駒込2-28-45 日本アイソトープ協会内

E-mail：tkikuchi@jarpm.net

主催：医療放射線防護連絡協議会